NIHON UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

日本大学
大学院入学試験要項

令和9年度

2027

国際関係研究科

【個人情報の保護について】

日本大学では，出願書類に御記入いただきました志願者の氏名・住所等の個人情報は，入学試験の出願受付，実施，合格発表，さらには入学に至る一連の手続と，日本大学で学生生活を始めるに当たって必要となる書類・お知らせ等の送付及び入学者データの統計処理のために使用いたします。

なお，日本大学はこれらの業務の一部を業者に委託する場合があります。この場合，日本大学及び当該業務の委託を受けた業者は，上記利用目的の達成に必要な範囲を超えて志願者の個人情報を利用することはありません。

お知らせ

令和９年度の授業科目については，変更となる場合があります。

◆日本大学の理念

日本大学の教育理念は「自主創造」です。日本人としての主体性を認識し，その上でグローバリゼーションに対応できる世界的視野で物事を捉え，それぞれが学ぶ領域や活動体験を生かし「自主創造」の気風に満ちた人材の育成を目指します。

◆大学院国際関係研究科の教育理念

日本大学の教育理念「自主創造」に基づき，「国際関係及び国際文化への正しい理解と深い学識を基礎として，新たな領域での高度な研究成果を創出することを通じて，国際貢献を行うこと」を理念とする。

◆教育研究上の目的

現在，国際社会はグローバル化が進行する一方で，地域格差の拡大・民族対立や紛争・環境破壊など様々な問題が深刻化し，複雑な事態に直面している。国際関係研究科では，問題解決の糸口を探ると同時に，グローバリズムとリージョナリズムの調和を図り，これまでの価値観や研究手法にとらわれず，学際的な視点と柔軟な発想から，諸問題に対しダイナミックにアプローチできる研究者を養成するとともに，国際交流や国際援助を活動の場とする高度専門職業人を養成する。

（国際関係研究専攻／博士前期課程）

世界の各地域における諸問題に対し，政治・経済・法律・開発・環境・情報等の視点から研究を行う「国際関係」部門と，各国の文化・文学の比較や異文化コミュニケーション等の文化的フィールドから研究を行う「国際文化」部門の双方の領域を視野に入れ，総合的・学際的なアプローチを試みることにより，専攻分野における研究能力を養い，専門性を要する職業等に必要な高度の能力を持つ人材を養成する。

（国際関係研究専攻／博士後期課程）

世界が直面している諸問題は，政治・経済・文化等の複雑な要因から構成されており，これらの問題に対しては，社会科学・人文科学の成果を結集した総合的・学際的研究が必要である。このような認識のもとに新領域の国際関係研究を確立し，地域研究を行い，国際関係に精通した研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有し，国際社会に貢献できる人材を養成する。

◆大学院国際関係研究科の教育目標

（国際関係研究専攻／博士前期課程）

国際関係及び国際文化並びにその関連学術分野における深い学識を涵養するとと

もに，専攻分野における研究能力を身につけるための研究指導を行い，専門性を要する職業等に必要な能力を持つ人材の育成が目標である。

（国際関係研究専攻／博士後期課程）

社会科学・人文科学における人類の英知を修得し，国際関係及び国際文化の専攻分野の研究において，新たな領域の確立及び高度な研究成果を創出できるための研究指導を行うとともに，今日のグローバル社会の諸問題に対して，広い視野から研究を遂行し，国際社会に貢献できる人材の育成が目標である。

◆日本大学大学院国際関係研究科教育方針

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針，論文審査基準を含む）

大学院国際関係研究科では，本研究科所定の期間在学し，教育研究上の目的及び教育目標に沿って設定した所定の修了要件を満たし，かつ，以下に示す１及び２の資質や能力を備えたと認められ，学位論文については以下に示す３の審査基準を満たした者に，修士（国際学）・博士（国際関係）の学位を授与する。

国際関係研究専攻／博士前期課程／修士（国際学）

1　世界の多様な価値観への正しい理解と深い学識により，国際的な視野で物事を捉え，諸問題に対して考察できる。

2　自己が創出した問題を広く深く考察し，国際関係並びに国際文化に関連する学術分野における深い見識を提示できる。

3　本研究科の修士論文の審査では，先行研究に対する正しい理解を示すとともに，研究成果を論理的に説明できる能力並びに独創性があることを基準に評価する。なお，最終試験では，国際関係並びに国際文化に関連する学術分野のうち，自己が専攻する領域において専門的な知識を有しているかを審査する。

国際関係研究専攻／博士後期課程／博士（国際関係）

1　社会科学・人文科学における先行研究の成果の正しい理解と深い学識により，国際的な視野で物事を捉え，諸問題に対して多面的に考察できる。

2　国際関係並びに国際文化に関連する学術分野において，高度な研究成果を創出できる。

3　本研究科の博士論文の審査では，先行研究を踏まえつつも，新規性及び独創性があり，その学際的な研究成果を論理的に説明できる能力並びに高い倫理性があることを基準に評価する。なお，最終試験では，学位申請者が今後継続して研究を遂行できる能力を有しているか，また，国際関係並びに国際文化に関連する学術分野のうち，自己が専攻する領域において国際社会に貢献できる高度な専門知

識を有しているかを審査する。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

大学院国際関係研究科では，その教育目標及びディプロマ・ポリシーに基づいた修士・博士の養成を目指し，国際関係専攻と国際文化専攻の双方の領域を視野に入れ，専攻分野における研究能力を養い，専門性を要する職業等に必要な高度の能力を持つ人材を養成するため，次のような方針に基づきカリキュラム（教育課程）を編成する。

また，各科目における教育内容・方法・成績評価方法及び評価基準をシラバスに明示し，学生に周知した上で実施する授業形態に即し，公正かつ厳正に評価を行う。

国際関係研究専攻／博士前期課程／修士（国際学）

深い学識を修得し，国際的な視野で物事を捉え，諸問題に対して考察できる資質や能力を養うために，国際関係と国際文化の２つの専攻を設置する。国際関係専攻では，政治・経済・法律・開発・協力・環境・情報等の科目を配置し，高度グローバル化社会の問題解決のための理論的思考力を修得する。国際文化専攻では，各地域の文化・表象文化・文学・社会の比較や異文化コミュニケーション，翻訳の科目等を配置し，我が国並びに他国の歴史，伝統や世界の多様な文化を尊重し，世界の多様な価値観への正しい理解を促し，より深い学識を涵養する。

この双方の専攻に配置された科目を選択必修としており，総合的・学際的なアプローチを試みることが可能となる。また，少人数での講義・演習等の授業形態により授業を実施し，研究テーマに関する個々の問題意識の深化を図り，専門性を高める。

国際関係研究専攻／博士後期課程／博士（国際関係）

国際関係並びに国際文化に関連する学術分野のうち，自己が専攻する領域の研究において，深い学識により，国際的な視野で物事を捉え，諸問題に対して多面的に考察でき，新たな領域及び高度な研究成果を創出できるよう，問題設定能力及び解決能力を養うことを目的とする。

国際関係専攻では，国際関係・国際政治・地域統合・国際経済・日米経済・国際貿易・国際経営・国際金融・国際開発協力・国際環境・国際資源等の科目を配置，国際文化専攻では，日米関係史・西洋文化・東洋文化・日英比較文化・日米比較文化・日独比較文化・日仏比較文化・異文化コミュニケーション等の科目を配置し，少人数での講義・演習等の授業形態により授業を実施する。研究指導教員による特別研究指導においては，個別的な「研究指導」を実施し，学位論文を作成して学位取得を目指す。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学院国際関係研究科では，現代の国際社会において伝統的な国際関係学を基礎として，経済的，政治的，文化的側面からアプローチすることができる横断的かつ学際的な研究活動を行える者を広く求める。

国際関係研究専攻／博士前期課程

専門分野における研究能力または高度な専門性を有する職業などに必要な能力を養うことを目指している。そのため，次のような資質や意欲を持つ学生を受け入れるものとする。

1　国際関係並びに国際文化に関連する学術分野の研究において，必要な知識や能力を身に付けるための努力を惜しまない者
2　国際関係並びに国際文化に関連する問題と自分がもつ問題意識との関係において，学際性のある研究を行う意欲を持っている者

国際関係研究専攻／博士後期課程

専門分野について，高度な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目指している。そのため，次のような資質や意欲を持つ学生を受け入れるものとする。

1　国際関係並びに国際文化に関連する学術分野の研究を目指し，国際的な視野で物事を考えることができる者
2　国際関係並びに国際文化に関連する問題について高度な専門性と知識を身につけ，独創性のある研究を行う意欲を持っている者

入学前に修得しておくことが望まれる学業内容と水準

国際関係研究専攻／博士前期課程／修士（国際学）

1　大学卒業レベルを前提として，国際関係並びに国際文化に関連する学術分野における研究推進のために不可欠な客観的で学際的な知識と能力を修得している。
2　世界の多様な価値観に対して，寛容性を持ち，正しく理解し，複数の言語や表現方法を用いて発信できる能力を修得している。

国際関係研究専攻／博士後期課程／博士（国際関係）

1　博士前期課程並びに修士課程修了レベルを前提として，国際関係並びに国際文化に関連する学術分野の研究において，研究推進のために不可欠な客観的で学際的な知識と能力を修得している。
2　様々な言語や表現方法を用いて，研究内容を議論できる能力を修得している。

◆履修方法及び学位授与

① 博士前期課程（修士課程）は，所定の年限在学し，専攻科目について32単位以上を修得し，必要な研究指導を受け，更に修士論文の審査及び最終試験に合格した者に修士の学位を授与する。

また，社会経験をもった社会人を対象とした１年コースもあります。

修士の学位に付記する専攻分野の名称は，次のとおりです。

国際関係研究科　国際関係研究専攻　修士（国際学）

② 博士課程の後期３年の課程に入学した者については，大学院に３年以上在学し国際関係研究科においては12単位以上を当該課程で専攻科目について修得し，必要な研究指導を受け，博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし，優れた業績を上げた者については，大学院に１年以上在学すれば足りるものとする。

博士の学位に付記する専攻分野の名称は，次のとおりです。

国際関係研究科　国際関係研究専攻　博士（国際関係）

◆出願資格

博士前期課程（修士課程）

標準コース

① 大学を卒業した者及び令和９年３月卒業見込みの者

② 学校教育法第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者及び令和９年３月までに学士の学位を授与される見込みの者

③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和９年３月修了見込みの者

④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和９年３月修了見込みの者

⑤ 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和９年３月修了見込みの者

⑥ 外国の大学等において，修業年限が３年以上である課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月31日までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者

⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学

大臣が定める日以降に修了した者及び令和９年３月修了見込みの者
⑧　文部科学大臣の指定した者
⑨　学校教育法第102条第２項の規定により大学院に入学した者であって，本大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
⑩　本大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，22歳に達した者及び令和９年３月までに22歳に達する者
⑪　大学に３年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって，本大学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めた者

１年コース

入学予定時に満25歳以上で社会経験をもち，次のいずれかに該当する者
①　大学を卒業した者
②　学校教育法第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者
③　外国において学校教育における16年の課程を修了した者
④　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
⑤　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
⑥　外国の大学等において，修業年限が３年以上である課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者
⑦　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
⑧　文部科学大臣の指定した者
⑨　学校教育法第102条第２項の規定により大学院に入学した者であって，本大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
⑩　本大学院における個別の入学資格審査によって，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

博士後期課程

①　修士の学位若しくは専門職学位を有する者及び令和９年３月までに取得する見込みの者
②　外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月までに授与される見込みの者

③　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月までに授与される見込みの者

④　我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月までに授与される見込みの者

⑤　国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月までに授与される見込みの者

⑥　外国の学校，上記第４号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，修士論文又は特定課題の研究成果の審査と試験の合格に代える審査に相当するものに合格し，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

⑦　文部科学大臣の指定した者

⑧　本大学院において，個別の入学資格審査により，修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達した者及び令和９年３月までに24歳に達する者

●出願に伴う注意事項

大学院国際関係研究科を志願する場合，博士前期課程及び博士後期課程の志願者は，出願前に希望研究指導教員との事前面談が必要となります。

希望研究指導教員については，国際関係研究科ホームページをご覧いただき，研究指導の可否及び研究領域を確認し，問合せメール（irb-soudankyomu@nihon-u.ac.jp）より事前面談の申込みをしてください。（研究指導領域の相違や研究テーマ・内容によっては事前面談をお受けできない場合があります。）

◆出願手続及び出願方法

⑴　出願書類

①　大学院入学志願票（本学所定の用紙）

②　調査書（本学所定の用紙）

③　成績証明書（原文・日本語訳添付）

④　卒業証明書又は卒業見込証明書（博士後期課程志願者は博士前期課程〈修士課程〉の修了証明書又は修了見込証明書）。ただし，学校教育法第104条第４項の規定により学士の学位を授与される見込みの者に対しては，その申請をする予定である旨を記した，在籍短大学長又は高等専門学校長の証明書も併せて提出してください。

⑤　博士後期課程志願者は修士論文の写し１冊

⑥　志望研究内容（博士前期課程志願者のみ）
⑦　研究計画書（博士後期課程志願者のみ）
⑧　推薦書（博士前期課程学内推薦入学試験志願者のみ）
⑨　住民票及びパスポートの写し（外国人のみ）

⑵　**入学検定料**　35,000円

上記の金額をゆうちょ銀行で**普通為替証書**にしてください。(同証書の受取人欄等には一切記入しないでください)

⑶　**出願方法**

出願締切日までに郵送必着です。

前記⑴・⑵と，受験票返送用封筒（本学所定のもの）を一括同封して，国際関係研究科の教務課に必ず**簡易書留郵便**で送付してください。

なお，受験票返送用封筒には，志願者の住所・氏名を明記し，**返送料の切手（速達料金含む410円分）**を必ず貼付してください。後日，受験票を郵送いたします。

試験日が迫って，受験票の返送が間に合わない場合には，**教務課**で保管しておきますので，受験の前に受け取ってください。

いったん提出された出願書類及び入学検定料は，いかなる理由があっても返還いたしません。

※博士前期課程１年コースは研究テーマが適切かどうか，事前審査を行いますので，提出期限までに，次の書類を書留郵便にて教務課宛送付してください。

提出書類　①　個人調書（本学所定の用紙）
②　最終出身校卒業証明書
③　志望研究内容（所定用紙，2,400字程度）
希望する研究指導教員がいる場合は，研究計画書に教員名を記入してください。
④　受講希望科目届出表

検定料は，研究テーマ事前審査まで徴収しません。

◆入学志願票記入上の注意

※　入学志願票の記入は，万年筆かボールペン（黒または青）を使用し，必ず本人が丁寧に記入してください。

※　出願に際しては，志願票，写真票，整理票，受験票は切り離さずに，４つ折にして送付してください。

A　志願票

①「試験区分」・「志望課程」欄は，志望する方を○で囲んでください。

②「志望研究科」欄に志願する研究科名を，「志望専攻・系」欄に志願する専攻名又は系名を記入してください。「志望専攻科目」・「志望専攻分野」については，該当する研究科のみ記入してください。

③「選択外国語」欄は受験を希望するもの一つを○で囲んでください。

(博士前期課程１年コース志願者は，記入しないでください)

④「学部又は修士の論文のテーマ」と，「今後の研究テーマ」を記入してください。

⑤「氏名」欄には，必ずフリガナをカタカナで記入してください。

なお，外国籍の方が通称名を用いる場合は，住民票に記載されている通称名に限ります。

⑥「性別」欄は，該当する方を○で囲んでください。

⑦「年齢」欄は，令和９年４月１日現在で記入してください。

⑧「生年月日」欄は，月・日が１桁の場合は十の位に０を記入してください。

⑨「連絡先住所」欄は，書類不備等緊急の場合に必要ですので，連絡がとれる住所を記入してください。電話番号は，連絡のつきやすい携帯電話の番号も記入してください。差し支えのない方は，メールアドレスを記入してください。

⑩「学歴」欄と「職歴・研究室」欄は，該当する箇所のみ記入し，必要な箇所を○で囲んでください。

⑪「保証人」欄には，保証人の氏名，郵便番号（７桁)，住所，電話番号を記入してください。

B　写真票

①　志願票を参考に記入してください。ただし，「志望専攻科目」欄と「志望専攻分野」欄は，一つの欄になっていますので，該当する方で記入してください。また，「照合印」欄は何も書かないでください。

②「写真貼付欄」には，最近３か月以内に撮影した正面上半身・脱帽で，背景の無い縦４cm×横３cmのもの（白黒・カラーどちらでも構いません）をはがれないように裏全面を糊で貼り付けてください。受験票にも同じ写真を貼り付けますので，一つの志願票につき，同じ写真が２枚必要になります。

なお，試験中に眼鏡を使用する人は，眼鏡をかけた状態で写真を撮ってください。

C　整理票

①　志願票を参考に記入してください。ただし，「志望専攻科目」欄と「志望専攻分野」欄は，一つの欄になっていますので，該当する方で記入してください。

D　受験票

①　志願票を参考に記入してください。ただし，「受付」欄には何も書かないで

ください。

② 「写真貼付欄」には，写真票を参考に同じ写真を貼ってください。

③ 裏面の注意事項を事前によく読んでおいてください。

◆入学手続

① 合格者は，合格発表の翌日から指示された期限までに，入学時納入金を納め，入学手続を完了してください。

② 入学手続完了後（入学時納入金を全額納入した後）に，やむをえない理由によって本学への入学を辞退する場合は，電話により令和９年３月31日（水）17時までに入学を辞退する本研究科の教務課へ申し出てください。

申し出を受理しますと，「入学辞退願」を本学より送付いたしますので，必要事項を記入の上，既送の「入学許可書」と併せて速やかに返送してください。

手続き終了後，入学金を除く入学時納入金（諸会費等を含む）は返還いたします。ただし，いったん提出された入学手続書類及び入学金は返還いたしません。

なお，令和９年４月１日（木）以降に申し出があった場合は，本学に学籍が生じておりますので，入学手続書類及び入学金を含む入学時納入金は返還いたしません（傷害保険については，約款の定めるところによる）。

《注意》①入学辞退の申し出受理に際しては，直接本人の意思確認をさせていただきます。

②入学辞退の申し出を，本学が受理した後の辞退の取り消しは認めません。

③「入学辞退願」が提出されない場合，入学金を除く入学時納入金の返還手続きができませんので，必ず提出してください。

③ その他，詳細は合格後配布される入学手続要項を参照してください。

◆出願書類の送付先及び試験場

日本大学大学院　国際関係研究科　教務課（本館１階）電話　055−980−0802

〒411−8555　静岡県三島市文教町2−31−145

ＪＲ東海道新幹線・東海道線，伊豆箱根鉄道「三島」駅下車 徒歩10分

◆募集人員

課程／専攻	博士前期課程	博士後期課程
国際関係研究専攻	10名 （3名は1年コース枠）	３名

◆入試諸日程

博士前期課程標準コース,博士後期課程

項目／課程	受　付　期　間	試　験　日	合格発表日	入学手続期間
第１期 試　験	令和８年９月10日(木) ～９月17日(木)	10月８日(木)	10月20日(火)	10月20日(火) ～11月４日(水)
第２期 試　験	令和９年１月12日(火) ～１月19日(火)	２月10日(水)	２月24日(水)	２月24日(水) ～３月５日(金)

※二段階手続締切日は，令和９年３月18日（木）

博士前期課程１年コース

項目／課程	テーマ提出期間	受付期間	試　験　日	合格発表日	入学手続期間
第１期 試　験	令和８年 ８月24日(月) ～８月25日(火)	９月10日(木) ～９月17日(木)	10月８日(木)	10月20日(火)	10月20日(火) ～11月４日(水)
第２期 試　験	令和８年 11月24日(火) ～11月25日(水)	令和９年 １月12日(火) ～１月19日(火)	２月10日(水)	２月24日(水)	２月24日(水) ～３月５日(金)

※二段階手続締切日は，令和９年３月18日（木）

◆試験科目

●学内推薦入学試験

項目／課程	試　験　科　目	試験時間
博　士 前期課程 標準コース	**口述試験及び面接** 専門分野に関して	10：00～

●一般入学試験

項目／課程	試　験　科　目	試験時間
博　士 前期課程 標準コース	**記述試験** ・論　文 ・外国語：英語，ドイツ語，フランス語，中国語， スペイン語，インドネシア語，韓国語， ロシア語，日本語(外国人留学生のみ)， その他の外国語(注)のうちから１か国語選択 ただし，外国人留学生は自国語を除く **口述試験及び面接** 専門分野に関して	10：30～ (10:30～12:00) (13:00～14:30) 15：00～
博　士 後期課程	**記述試験** 外国語：英語，ドイツ語，フランス語，中国語， スペイン語，インドネシア語，韓国語， ロシア語，日本語(外国人留学生のみ)， その他の外国語(注)のうち研究に主として 使用する１か国語選択 ただし，外国人留学生は自国語を除く **口述試験及び面接** 専門分野・語学力に関して	10：30～12：00 13：00～

（備考）外国語科目については，辞書の使用を認める。（電子辞書は使用不可）
(注)「その他の外国語」受験希望者は，出願前に本研究科に問い合わせをし，受験を許可された外国語に限り出願することができる。

項目／課程	試　験　科　目	試験時間
博　士 前期課程 1年コース	**◇日本人の場合** **記述試験** ・論文 **口述試験及び面接** **◇外国人の場合** **記述試験** ・論文(日本語もしくは自国語以外の外国語) **口述試験(日本語)及び面接**	 10：30～11：30 13：00～ 10：30～11：30 13：00～

◆入学者納入金

課程＼項目	◎入　学　金	授　業　料	施設設備資金
博士前期課程 標準コース	(学外)　200,000	②　750,000	1～2年次 ②　200,000
博士後期課程	(学外)　200,000	②　700,000	1～3年次 ②　200,000

課程＼項目	初年度納入金額	入学時最小限納入金額	2年次
博士前期課程 標準コース	(学内)　950,000 (学外)　1,150,000	(学内)　475,000 (学外)　675,000	950,000
博士後期課程	(学内)　900,000 (学外)　1,100,000	(学内)　450,000 (学外)　650,000	900,000

(備考)　1　金額の単位は円。◎は入学初年度のみ納入。②は分納回数。
　　2　表中に記載の（学内）は，本学を卒業した者または本大学院を修了した者をいう。
　　3　上記の学納金のほか，後援会費年額30,000円と，校友会準会員会費を毎年10,000円納入。
　　また，修了年度に校友会正会員会費初年度分を10,000円納入。

課程＼項目	◎入　学　金	授　業　料	施設設備資金
博士前期課程 1年コース	(学外)　200,000	②　1,100,000	1年次 ②　200,000

課程＼項目	初年度納入金額	入学時最小限納入金額	
博士前期課程 1年コース	(学内)　1,300,000 (学外)　1,500,000	(学内)　650,000 (学外)　850,000	

(備考)　1　金額の単位は円。②は分納回数。
　　2　表中に記載の（学内）は，本学を卒業した者または本大学院を修了した者をいう。
　　3　上記の学納金のほか，後援会費年額30,000円と，校友会準会員会費を毎年10,000円納入。
　　また，修了年度に校友会正会員会費初年度分を10,000円納入。

国 際 関 係 研 究 科

博 士 前 期 課 程　標準コース

国 際 関 係 研 究 専 攻		
授 業 科 目	単位数	科 目 担 当 者
国際関係		
国際関係研究A 1	2	講 師 石田 勝之
国際関係研究A 2	2	講 師 石田 勝之
国際関係研究B 1	2	教 授 博士(国際関係) 鄭 勛燮
国際関係研究B 2	2	教 授 博士(国際関係) 鄭 勛燮
国際関係研究C 1	2	教 授 博士(安全保障学) 佐野秀太郎
国際関係研究C 2	2	教 授 博士(安全保障学) 佐野秀太郎
安全保障研究 1	2	講 師 博士(国際関係) 吉本 隆昭
安全保障研究 2	2	講 師 博士(国際関係) 吉本 隆昭
戦略論研究 1	2	特任教授 博士(学術) 淺川 道夫
戦略論研究 2	2	特任教授 博士(学術) 淺川 道夫
地域研究A 1	2	(本年度は開講せず)
地域研究A 2	2	(本年度は開講せず)
地域研究B 1	2	(本年度は開講せず)
地域研究B 2	2	(本年度は開講せず)
地域研究C 1	2	(本年度は開講せず)
地域研究C 2	2	(本年度は開講せず)
国際法研究A 1	2	教 授 博士(法学) 稲角 光恵
国際法研究A 2	2	教 授 博士(法学) 稲角 光恵
国際法研究B 1	2	(本年度は開講せず)
国際法研究B 2	2	(本年度は開講せず)
国際私法研究 1	2	教 授 小野健太郎
国際私法研究 2	2	教 授 小野健太郎
比較法研究 1	2	教 授 小野健太郎
比較法研究 2	2	教 授 小野健太郎
国際経済研究A 1	2	特任教授 博士(国際関係) 大淵 三洋

国際経済研究A 2	2	特任教授	博士(国際関係)	大淵　三洋
国際経済研究B 1	2	准　教　授	博士(経営学)	宮城　博文
国際経済研究B 2	2	准　教　授	博士(経営学)	宮城　博文
国際経済研究C 1	2	教　　授		東馬　宏和
国際経済研究C 2	2	教　　授		東馬　宏和
地域経済研究A 1	2	(本年度は開講せず)		
地域経済研究A 2	2	(本年度は開講せず)		
地域経済研究B 1	2	特任教授		川口　智彦
地域経済研究B 2	2	特任教授		川口　智彦
地域経済研究C 1	2	教　　授	博士(経済学)	陳　　文挙
地域経済研究C 2	2	教　　授	博士(経済学)	陳　　文挙
国際貿易研究 1	2	教　　授		小田　正規
国際貿易研究 2	2	教　　授		小田　正規
国際経営研究A 1	2	教　　授		筧　　正治
国際経営研究A 2	2	教　　授		筧　　正治
国際経営研究B 1	2	教　　授	博士(国際関係)	蓼沼　智行
国際経営研究B 2	2	教　　授	博士(国際関係)	蓼沼　智行
国際金融研究 1	2	教　　授		武田　英俊
国際金融研究 2	2	教　　授		武田　英俊
国際投資研究 1	2	(本年度は開講せず)		
国際投資研究 2	2	(本年度は開講せず)		
地域産業振興研究1	2	教　　授		宍戸　　学
地域産業振興研究2	2	教　　授		宍戸　　学
国際環境研究 1	2	講　　師	博士(工学)	堅尾　和夫
国際環境研究 2	2	講　　師	博士(工学)	堅尾　和夫
国際資源研究 1	2	講　　師	博士(工学)	堅尾　和夫
国際資源研究 2	2	講　　師	博士(工学)	堅尾　和夫
国際協力研究1(国際環境協力)	2	教　　授	博士(農学)	鈴木　和信
国際協力研究2(国際環境協力)	2	教　　授	博士(農学)	鈴木　和信
国際協力研究1(地球環境問題)	2	特任教授	博士(工学)	山中　康資
国際協力研究2(地球環境問題)	2	特任教授	博士(工学)	山中　康資
国際開発研究 1	2	(本年度は開講せず)		
国際開発研究 2	2	(本年度は開講せず)		

情報管理研究１	2	(本年度は開講せず)	
情報管理研究２	2	(本年度は開講せず)	
国際ＩＴ戦略研究１	2	(本年度は開講せず)	
国際ＩＴ戦略研究２	2	(本年度は開講せず)	
国際文化			
地域文化研究A１(宗教文化)	2	教　　授　Ｐh.D.	松本　佐保
地域文化研究A２(宗教文化)	2	教　　授　Ｐh.D.	松本　佐保
地域文化研究A１(中国文化)	2	特任教授	呉　　川
地域文化研究A２(中国文化)	2	特任教授	呉　　川
地域文化研究Ｂ１	2	(本年度は開講せず)	
地域文化研究Ｂ２	2	(本年度は開講せず)	
地域文化研究Ｃ１	2	特任教授　Ｐh.D.	小代有希子
地域文化研究Ｃ２	2	特任教授　Ｐh.D.	小代有希子
地域文化研究Ｄ１	2	教　　授　Ｐh.D.	角田　哲康
地域文化研究Ｄ２	2	教　　授　Ｐh.D.	角田　哲康
地域文化研究Ｅ１	2	(本年度は開講せず)	
地域文化研究Ｅ２	2	(本年度は開講せず)	
地域文化研究Ｆ１	2	特任教授　博士(国際関係)	濵屋　雅軌
地域文化研究Ｆ２	2	特任教授　博士(国際関係)	濵屋　雅軌
地域文化研究Ｇ１	2	教　　授　Ｐh.D.	渡邊武一郎
地域文化研究Ｇ２	2	教　　授　Ｐh.D.	渡邊武一郎
地域文化研究Ｈ１	2	(本年度は開講せず)	
地域文化研究Ｈ２	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ａ１	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ａ２	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ｂ１	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ｂ２	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ｃ１	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ｃ２	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ｄ１	2	教　　授	髙塚浩由樹
比較文化研究Ｄ２	2	教　　授	髙塚浩由樹
比較文化研究Ｅ１	2	特任教授　博士(文学)	安元　隆子

比較文化研究Ｅ２	2	特任教授　博士(文学)	安元　隆子
比較文化研究Ｆ１(言語の仕組みと運用)	2	講　　師	大川　英明
比較文化研究Ｆ２(言語の仕組みと運用)	2	講　　師	大川　英明
比較文化研究Ｆ１(日中比較文化)	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ｆ２(日中比較文化)	2	(本年度は開講せず)	
国際表象文化研究Ａ１	2	教　　授	橋本由紀子
国際表象文化研究Ａ２	2	教　　授	橋本由紀子
国際表象文化研究Ｂ１	2	講　　師	平野　明彦
国際表象文化研究Ｂ２	2	講　　師	平野　明彦
国際表象文化研究Ｃ１	2	特任教授	宗形　賢二
国際表象文化研究Ｃ２	2	特任教授	宗形　賢二
比較社会研究Ａ１(臨床心理)	2	教　　授	有木　永子
比較社会研究Ａ２(臨床心理)	2	教　　授	有木　永子
比較社会研究Ａ１(社会心理)	2	特任教授　博士(心理学)	伊坂　裕子
比較社会研究Ａ２(社会心理)	2	特任教授　博士(心理学)	伊坂　裕子
比較社会研究Ａ１(日米比較社会)	2	准教授　Ｐh.D.	武井　　勲
比較社会研究Ａ２(日米比較社会)	2	准教授　Ｐh.D.	武井　　勲
比較社会研究Ｂ１	2	教　　授	永塚　史孝
比較社会研究Ｂ２	2	教　　授	永塚　史孝
比較社会研究Ｃ１	2	教　　授　Ｐh.D.	小川　直人
比較社会研究Ｃ２	2	教　　授　Ｐh.D.	小川　直人
比較社会研究Ｄ１	2	(本年度は開講せず)	
比較社会研究Ｄ２	2	(本年度は開講せず)	
比較社会研究Ｅ１	2	教　　授　博士(福祉社会学)	上田　光明
比較社会研究Ｅ２	2	教　　授　博士(福祉社会学)	上田　光明
翻訳理論１	2	教　　授　Ｐh.D.	芳賀　理彦
翻訳理論２	2	教　　授　Ｐh.D.	芳賀　理彦
翻訳法１	2	(本年度は開講せず)	
翻訳法２	2	(本年度は開講せず)	
外国文献研究Ａ１	2	特任教授	宗形　賢二
外国文献研究Ａ２	2	特任教授	宗形　賢二
外国文献研究Ｂ１	2	(本年度は開講せず)	
外国文献研究Ｂ２	2	(本年度は開講せず)	

外国文献研究C 1	2	(本年度は開講せず)		
外国文献研究C 2	2	(本年度は開講せず)		
特別講座 I	2	(本年度は開講せず)		
特別講座 II	2	(本年度は開講せず)		
		教授		有木 永子
		教授	博士(福祉社会学)	上田 光明
		教授	Ph.D.	小川 直人
		教授		小野健太郎
		教授	博士(安全保障学)	佐野秀太郎
		教授		宍戸 学
研究指導 I	4	教授	博士(農学)	鈴木 和信
研究指導 II	4	教授	Ph.D.	角田 哲康
学位論文		教授	博士(国際関係)	蓼沼 智行
		教授	博士(国際関係)	鄭 勛燮
		教授	博士(経済学)	陳 文挙
		教授		永塚 史孝
		教授		橋本由紀子
		教授	Ph.D.	松本 佐保
		教授	Ph.D.	渡邊武一郎

※令和８年度の科目担当者です。

【履修方法】修士課程は，所定の年限在学の上，専攻科目について32単位以上を修得し，必要な研究指導を受け，更に修士論文の審査及び最終試験に合格した場合，修士の学位が授与されます。

国 際 関 係 研 究 科

博 士 前 期 課 程　1 年コース

国 際 関 係 研 究 専 攻			
授　業　科　目	単位数	科　　目　　担　　当　　者	
国際関係			
国際関係研究A 1	2	講　　師	石田　勝之
国際関係研究A 2	2	講　　師	石田　勝之
国際関係研究B 1	2	教　　授　博士(国際関係)	鄭　　勛燮
国際関係研究B 2	2	教　　授　博士(国際関係)	鄭　　勛燮
国際関係研究C 1	2	教　　授　博士(安全保障学)	佐野秀太郎
国際関係研究C 2	2	教　　授　博士(安全保障学)	佐野秀太郎
安全保障研究 1	2	講　　師　博士(国際関係)	吉本　隆昭
安全保障研究 2	2	講　　師　博士(国際関係)	吉本　隆昭
戦略論研究 1	2	特任教授　博士(学術)	淺川　道夫
戦略論研究 2	2	特任教授　博士(学術)	淺川　道夫
地域研究A 1	2	(本年度は開講せず)	
地域研究A 2	2	(本年度は開講せず)	
地域研究B 1	2	(本年度は開講せず)	
地域研究B 2	2	(本年度は開講せず)	
地域研究C 1	2	(本年度は開講せず)	
地域研究C 2	2	(本年度は開講せず)	
国際法研究A 1	2	教　　授　博士(法学)	稲角　光恵
国際法研究A 2	2	教　　授　博士(法学)	稲角　光恵
国際法研究B 1	2	(本年度は開講せず)	
国際法研究B 2	2	(本年度は開講せず)	
国際私法研究 1	2	教　　授	小野健太郎
国際私法研究 2	2	教　　授	小野健太郎
比較法研究 1	2	教　　授	小野健太郎
比較法研究 2	2	教　　授	小野健太郎
国際経済研究A 1	2	特任教授　博士(国際関係)	大淵　三洋

国際経済研究A 2	2	特任教授	博士(国際関係)	大淵　三洋
国際経済研究B 1	2	准教授	博士(経営学)	宮城　博文
国際経済研究B 2	2	准教授	博士(経営学)	宮城　博文
国際経済研究C 1	2	教授		東馬　宏和
国際経済研究C 2	2	教授		東馬　宏和
地域経済研究A 1	2	(本年度は開講せず)		
地域経済研究A 2	2	(本年度は開講せず)		
地域経済研究B 1	2	特任教授		川口　智彦
地域経済研究B 2	2	特任教授		川口　智彦
地域経済研究C 1	2	教授	博士(経済学)	陳　文挙
地域経済研究C 2	2	教授	博士(経済学)	陳　文挙
国際貿易研究 1	2	教授		小田　正規
国際貿易研究 2	2	教授		小田　正規
国際経営研究A 1	2	教授		筧　正治
国際経営研究A 2	2	教授		筧　正治
国際経営研究B 1	2	教授	博士(国際関係)	蓼沼　智行
国際経営研究B 2	2	教授	博士(国際関係)	蓼沼　智行
国際金融研究 1	2	教授		武田　英俊
国際金融研究 2	2	教授		武田　英俊
国際投資研究 1	2	(本年度は開講せず)		
国際投資研究 2	2	(本年度は開講せず)		
地域産業振興研究1	2	教授		宍戸　学
地域産業振興研究2	2	教授		宍戸　学
国際環境研究 1	2	講師	博士(工学)	堅尾　和夫
国際環境研究 2	2	講師	博士(工学)	堅尾　和夫
国際資源研究 1	2	講師	博士(工学)	堅尾　和夫
国際資源研究 2	2	講師	博士(工学)	堅尾　和夫
国際協力研究1(国際環境協力)	2	教授	博士(農学)	鈴木　和信
国際協力研究2(国際環境協力)	2	教授	博士(農学)	鈴木　和信
国際協力研究1(地球環境問題)	2	特任教授	博士(工学)	山中　康資
国際協力研究2(地球環境問題)	2	特任教授	博士(工学)	山中　康資
国際開発研究 1	2	(本年度は開講せず)		
国際開発研究 2	2	(本年度は開講せず)		

情報管理研究１	2	(本年度は開講せず)	
情報管理研究２	2	(本年度は開講せず)	
国際ＩＴ戦略研究１	2	(本年度は開講せず)	
国際ＩＴ戦略研究２	2	(本年度は開講せず)	
国際文化			
地域文化研究A１(宗教文化)	2	教　　授　Ｐh.D.	松本　佐保
地域文化研究A２(宗教文化)	2	教　　授　Ｐh.D.	松本　佐保
地域文化研究A１(中国文化)	2	特任教授	呉　　川
地域文化研究A２(中国文化)	2	特任教授	呉　　川
地域文化研究Ｂ１	2	(本年度は開講せず)	
地域文化研究Ｂ２	2	(本年度は開講せず)	
地域文化研究Ｃ１	2	特任教授　Ｐh.D.	小代有希子
地域文化研究Ｃ２	2	特任教授　Ｐh.D.	小代有希子
地域文化研究Ｄ１	2	教　　授　Ｐh.D.	角田　哲康
地域文化研究Ｄ２	2	教　　授　Ｐh.D.	角田　哲康
地域文化研究Ｅ１	2	(本年度は開講せず)	
地域文化研究Ｅ２	2	(本年度は開講せず)	
地域文化研究Ｆ１	2	特任教授　博士(国際関係)	濵屋　雅軌
地域文化研究Ｆ２	2	特任教授　博士(国際関係)	濵屋　雅軌
地域文化研究Ｇ１	2	教　　授　Ｐh.D.	渡邊武一郎
地域文化研究Ｇ２	2	教　　授　Ｐh.D.	渡邊武一郎
地域文化研究Ｈ１	2	(本年度は開講せず)	
地域文化研究Ｈ２	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ａ１	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ａ２	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ｂ１	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ｂ２	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ｃ１	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ｃ２	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ｄ１	2	教　　授	髙塚浩由樹
比較文化研究Ｄ２	2	教　　授	髙塚浩由樹
比較文化研究Ｅ１	2	特任教授　博士(文学)	安元　隆子

比較文化研究Ｅ２	2	特任教授　博士(文学)	安元　隆子
比較文化研究Ｆ１(言語の仕組みと運用)	2	講　　師	大川　英明
比較文化研究Ｆ２(言語の仕組みと運用)	2	講　　師	大川　英明
比較文化研究Ｆ１(日中比較文化)	2	(本年度は開講せず)	
比較文化研究Ｆ２(日中比較文化)	2	(本年度は開講せず)	
国際表象文化研究Ａ１	2	教　　授	橋本由紀子
国際表象文化研究Ａ２	2	教　　授	橋本由紀子
国際表象文化研究Ｂ１	2	講　　師	平野　明彦
国際表象文化研究Ｂ２	2	講　　師	平野　明彦
国際表象文化研究Ｃ１	2	特任教授	宗形　賢二
国際表象文化研究Ｃ２	2	特任教授	宗形　賢二
比較社会研究Ａ１(臨床心理)	2	教　　授	有木　永子
比較社会研究Ａ２(臨床心理)	2	教　　授	有木　永子
比較社会研究Ａ１(社会心理)	2	特任教授　博士(心理学)	伊坂　裕子
比較社会研究Ａ２(社会心理)	2	特任教授　博士(心理学)	伊坂　裕子
比較社会研究Ａ１(日米比較社会)	2	准教授　Ph.D.	武井　　勲
比較社会研究Ａ２(日米比較社会)	2	准教授　Ph.D.	武井　　勲
比較社会研究Ｂ１	2	教　　授	永塚　史孝
比較社会研究Ｂ２	2	教　　授	永塚　史孝
比較社会研究Ｃ１	2	教　　授　Ph.D.	小川　直人
比較社会研究Ｃ２	2	教　　授　Ph.D.	小川　直人
比較社会研究Ｄ１	2	(本年度は開講せず)	
比較社会研究Ｄ２	2	(本年度は開講せず)	
比較社会研究Ｅ１	2	教　　授　博士(福祉社会学)	上田　光明
比較社会研究Ｅ２	2	教　　授　博士(福祉社会学)	上田　光明
翻訳理論１	2	教　　授　Ph.D.	芳賀　理彦
翻訳理論２	2	教　　授　Ph.D.	芳賀　理彦
翻訳法１	2	(本年度は開講せず)	
翻訳法２	2	(本年度は開講せず)	
外国文献研究Ａ１	2	特任教授	宗形　賢二
外国文献研究Ａ２	2	特任教授	宗形　賢二
外国文献研究Ｂ１	2	(本年度は開講せず)	
外国文献研究Ｂ２	2	(本年度は開講せず)	

外国文献研究C 1	2	(本年度は開講せず)		
外国文献研究C 2	2	(本年度は開講せず)		
特別講座 I	2	(本年度は開講せず)		
特別講座 II	2	(本年度は開講せず)		
		教授		有木 永子
		教授	博士(福祉社会学)	上田 光明
		教授	Ph.D.	小川 直人
		教授		小野健太郎
		教授	博士(安全保障学)	佐野秀太郎
		教授		宍戸 学
研究指導 I	4	教授	博士(農学)	鈴木 和信
研究指導 II	4	教授	Ph.D.	角田 哲康
学位論文		教授	博士(国際関係)	蓼沼 智行
		教授	博士(国際関係)	鄭 勛燮
		教授	博士(経済学)	陳 文挙
		教授		永塚 史孝
		教授		橋本由紀子
		教授	Ph.D.	松本 佐保
		教授	Ph.D.	渡邊武一郎

※令和８年度の科目担当者です。

【履修方法】修士課程は，所定の年限在学の上，専攻科目について32単位以上を修得し，必要な研究指導を受け，更に修士論文の審査及び最終試験に合格した場合，修士の学位が授与されます。

博 士 後 期 課 程

国 際 関 係 研 究 専 攻			
授 業 科 目	単位数	科 目 担 当 者	
国際関係			
国際関係特別研究(外交・紛争)	4	教 授 博士(安全保障学)	佐野秀太郎
国際関係特別研究(政治理論)	4	教 授 博士(国際関係)	鄭 勛燮
国際関係特別研究(安全保障)	4	講 師 博士(国際関係)	吉本 隆昭
国際政治特別研究(軍事戦略)	4	特任教授 博士(学術)	淺川 道夫
国際政治特別研究(比較政治)	4	(本年度は開講せず)	
地域統合特別研究(国際取引)	4	教 授	小野健太郎
国際経済特別研究(観光)	4	教 授	宍戸 学
国際経済特別研究(中国経済)	4	教 授 博士(経済学)	陳 文挙
国際経済特別研究(財政)	4	特任教授 博士(国際関係)	大淵 三洋
日米経済特別研究	4	(本年度は開講せず)	
国際貿易特別研究	4	(本年度は開講せず)	
国際経営特別研究	4	教 授 博士(国際関係)	蓼沼 智行
国際金融特別研究	4	(本年度は開講せず)	
国際開発協力特別研究(開発と環境)	4	教 授 博士(農学)	鈴木 和信
国際開発協力特別研究(地球環境問題)	4	特任教授 博士(工学)	山中 康資
国際開発協力特別研究(国際協力)	4	(本年度は開講せず)	
国際環境・資源特別研究	4	講 師 博士(工学)	堅尾 和夫
国際文化			
日米関係史特別研究(日米関係)	4	特任教授 Ph.D.	小代有希子
日米関係史特別研究(日米交流)	4	特任教授 博士(国際関係)	濵屋 雅軌
西洋文化特別研究(思想文化)	4	教 授 Ph.D.	角田 哲康
西洋文化特別研究(宗教文化)	4	教 授 Ph.D.	松本 佐保
西洋文化特別研究(精神文化)	4	講 師	平野 明彦
東洋文化特別研究(仏教思想)	4	教 授 Ph.D.	渡邊武一郎
東洋文化特別研究(中国文化)	4	講 師	呉 川
東洋文化特別研究(宗教)	4	(本年度は開講せず)	

日英比較文化・文学特別研究	4	(本年度は開講せず)		
日米比較文化・文学特別研究(教育)	4	教　　授		永塚　史孝
日米比較文化・文学特別研究(表象文化)	4	特任教授		宗形　賢二
日独比較文化・文学特別研究	4	(本年度は開講せず)		
日仏比較文化・文学特別研究	4	(本年度は開講せず)		
日本比較文化・文学特別研究	4	(本年度は開講せず)		
異文化コミュニケーション特別研究(臨床心理)	4	教　　授		有木　永子
異文化コミュニケーション特別研究(文化心理)	4	特任教授	博士(心理学)	伊坂　裕子
異文化コミュニケーション特別研究(犯罪社会学)	4	教　　授	博士(福祉社会学)	上田　光明
異文化コミュニケーション特別研究(文化の比較方法)	4	教　　授	Ph.D.	小川　直人
		教　　授		小野健太郎
		教　　授	博士(安全保障学)	佐野秀太郎
特別研究指導Ⅰ		教　　授	Ph.D.	角田　哲康
特別研究指導Ⅱ		教　　授	博士(国際関係)	蓼沼　智行
特別研究指導Ⅲ		教　　授	博士(国際関係)	鄭　勛燮
学位論文		教　　授	博士(経済学)	陳　文挙
		教　　授		永塚　史孝
		教　　授	Ph.D.	渡邊武一郎

※令和８年度の科目担当者です。

【履修方法】博士課程の後期３年の課程に入学した場合は，大学院に３年以上在学の上，国際関係研究科においては12単位以上を当該課程で専攻科目について修得し，研究指導教員の特別研究指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを受け，更に博士論文の審査及び最終試験に合格した場合，博士の学位が授与されます。